

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名：KCケーシーボンド 寒冷期用 SA-114 主剤
 会社名：株式会社クボタケミックス
 住所：(〒556-8601)大阪市浪速区敷津東1-2-47
 担当部門：品質保証部 堺品質保証課
 電話番号：072(245)8026
 FAX番号：072(245)8268
 緊急連絡先：品質保証部 堺品質保証課
 072(245)8026

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2

皮膚感作性：区分 1

発がん性：区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性)：区分 1

水生環境有害性(長期間)：区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H351 発がんのおそれの疑い

H400 水生生物に非常に強い毒性

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P273 環境への放出を避けること。

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートの吸入を避けること。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護手袋を着用すること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

P280 指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

P391 漏出物を回収すること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

- P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
 P333 + P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 P305 + P351 + P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用してい
 て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337 + P313 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :
 混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
ビスフェノールAエポキシ樹脂	30 - 40	25068-38-6	-
酸化チタン(IV)	0.1-1.0	13463-67-7	-
反応性希釈剤	1-5	非公開	-
無機充填剤	60-70	非公開	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV)

GHS分類区分該当有害成分

環境シンボル該当成分

ビスフェノールAエポキシ樹脂

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後
 も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

泡、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m³

(酸化チタン(IV))

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m³ (下気道刺激)

作業環境許容濃度(中国 GBZ 2.1-2007)

(酸化チタン(IV))

PC-TWA: 8 総粉じん-mg/m³

OSHA-PEL

(酸化チタン(IV))

TWA 15mg/m³

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状 : パテ状

色 : 白色

臭い : 微刺激臭

比重/密度 : 1.7

溶解度

水に対する溶解度 : 不溶

溶媒の溶解度 : ほとんどの溶剤に易溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

労働基準法: 疾病化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 刺激性 (CERIハザードデータ集 2001-36, 2002et al)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

ラビット 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 軽度の刺激性 (CERI/ハザードデータ集 2001-36, 2002)

感作性

感作性[厚労省局長通達]

ビスフェノールAエポキシ樹脂

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂) cat.1; DFGOTvol.19, 2003

生殖細胞変異原性

[厚労省局長通達]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

発がん性

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

IARC (Monograph Vol.93, in preparation) 粒径10-50nm Gr.2B

(酸化チタン(IV))

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(酸化チタン(IV))

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI・NITE, 2006)

水溶解度

(酸化チタン(IV))

溶けない (HSDB, 2004)

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

0.000041 g/100 ml (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

残留性・分解性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BODによる分解度: 0% (既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BCF <= 42(Check & Review, Japan)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号：3077

品名(国連輸送名)：

環境有害物質、固体、N.O.S.

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：9

容器等級：III

指針番号：171

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

酸化チタン(IV)

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

船舶安全法

有害性物質 分類9

航空法

その他の有害物件 分類9

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(X類)

ビスフェノールAエポキシ樹脂

有害液体物質(Z類)

酸化チタン(IV)

環境有害性

海洋汚染物質_急性有害性

ビスフェノールAエポキシ樹脂

海洋汚染物質_長期間有害性

ビスフェノールAエポキシ樹脂

US主要規制

TSCA

酸化チタン(IV)

16. その他の情報

GHS分類区分

皮膚腐食性/刺激性 区分 2:H315 皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2:H319 強い眼刺激

皮膚感作性 区分 1:H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

発がん性 区分 2:H351 発がんのおそれの疑い

水生毒性-急性 区分 1:H400 水生生物に非常に強い毒性

水生毒性-慢性 区分 1:H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

Supplier's data/information

責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性又は完全性について、何も責任を取ることはできません。全ての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものであります。全ての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名：KCケーシーボンド 寒冷期用 SA-114 硬化剤

会社名：株式会社クボタケミックス

住所：(〒556-8601)大阪市浪速区敷津東1-2-47

担当部門：品質保証部 堺品質保証課

電話番号：072(245)8026

FAX番号：072(245)8268

緊急連絡先：品質保証部 堺品質保証課

072(245)8026

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性：区分 1

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 1

皮膚感作性：区分 1

生殖毒性：区分 1B

環境有害性

水生環境有害性(急性)：区分 3

水生環境有害性(長期間)：区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

H318 重篤な眼の損傷

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H402 水生生物に有害

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

P273 環境への放出を避けること。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護手袋を着用すること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P280 保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

P280 指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

- P310 直ちに医師に連絡すること。
 P304 + P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
 P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 P333 + P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :
 混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
ポリチオール	10 - 20	非公開	-
ポリアミドアミン	10 - 20	非公開	-
2-エチルヘキサン酸	< 1	149-57-5	1-051
エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル	< 1	111-76-2	-
反応性希釈剤	5-10	非公開	-
無機充填剤	60-70	非公開	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

2-エチルヘキサン酸 , エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

作業環境評価基準(1995) ≤ 25 ppm

許容濃度

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

ACGIH(1996) TWA: 20ppm (眼および上気道刺激)

(2-エチルヘキサン酸)

ACGIH(2006) TWA: 5mg/m³(IFV) (変異影響)

OSHA-PEL

(2-エチルヘキサン酸)

TWA 0ppm, 0mg/m³; STEL 0ppm, 0mg/m³; C 0ppm, 0mg/m³

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

TWA 50ppm, 240mg/m³

NIOSH-REL

(2-エチルヘキサン酸)

TWA 0ppm, 0mg/m³; STEL 0ppm, 0mg/m³; C 0ppm, 0mg/m³

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

TWA 5ppm, 24mg/m³

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：パテ状

色：黒灰色

臭い：メルカプタン臭

比重/密度:1.7

溶解度

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度：ほとんどの溶剤に易溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

rat LD50 = 470 - 1950 mg/kg (ATSDR, 1998)

(2-エチルヘキサン酸)

rat LD50=2043 mg/kg (IUCLID, 2000)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

rabbit LD50 =220 mg/kg (ATSDR, 1998)

(2-エチルヘキサン酸)

rabbit LD50=1140 mg/kg (ACGIH, 2001)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

vapor : female rat LC50=450 ppm/4hr (SIDS, 1997)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

ラビット 刺激性 (SIDS, 1997)

(2-エチルヘキサン酸)

ラビット 腐食性 (IUCLID, 2000)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

ラビット (OECD TG405: GLP) AOI=30-80 (ECETOCTR48, 1998)

(2-エチルヘキサン酸)
ラビット (ACGIH 7th, 2001)

発がん性

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
ACGIH-A3(1996) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

生殖毒性

[日本公表根拠データ]
(2-エチルヘキサン酸) cat.1B; rat : ACGIH 7th, 2001
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル) cat.2; rabbit : SIDS, 1997

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル) 気道刺激性 (HSDB, 2004)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
魚類(シーブスヘッドミノール) LC50 = 116mg/L/96hr (環境省リスク評価第6巻, 2008、他)
(2-エチルヘキサン酸)
甲殻類(オオミジンコ) EC50=85.4mg/L/48hr (IUCLID, 2000)

水溶解度

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
混和する (ICSC, 2003)
(2-エチルヘキサン酸)
0.14 g/100 ml (ICSC, 2005)

残留性・分解性

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
BODによる分解度: 96% (既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
log Pow=0.83 (PHYSPROP Database, 2005)
(2-エチルヘキサン酸)
log Pow=2.64 (PHYSPROP Database, 2005)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
 番号 : NA
 指針番号 : 171

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 労働安全衛生法
 有機溶剤等に該当しない製品
 名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)
 2-エチルヘキサン酸; エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル
 消防法に該当しない。
 化審法
 優先評価化学物質
 エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル
 大気汚染防止法
 有害大気汚染物質(中環審第9次答申)
 2-エチルヘキサン酸
 バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
 有害液体物質(Y類)
 エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル; 2-エチルヘキサン酸
 環境有害性
 US主要規制
 TSCA
 2-エチルヘキサン酸

16. その他の情報

GHS分類区分
 皮膚腐食性/刺激性 区分 1:H314 重篤な薬傷・眼の損傷
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1:H318 重篤な眼の損傷
 皮膚感作性 区分 1:H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 生殖毒性 区分 1B:H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 水生毒性-急性 区分 3:H402 水生生物に有害
 水生毒性-慢性 区分 3:H412 長期継続的影響により水生生物に有害

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
 Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
 2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
 JIS Z 7253 (2012年)
 JIS Z 7252 (2014年)
 2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
 Supplier's data/information

責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性又は完全性について、何も責任を取ることはできません。全ての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものです。全ての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。